

令和2年度 渡島東部 森林室立木販売重点目標

渡島東部 森林室

1 地域材を活用した地域の取組みの促進 (①)

平成30年取得した森林認証に基づく道有林材の安定供給により、地域材のブランド化を図る。また、協定に基づく道有林材の安定供給により、地域の素材生産を担う林業事業者の育成や道産木材の需要拡大を図っていく。

- 1 森林認証に基づくCoC限定一般競争入札の推進
- 2 協定締結中の長期安定供給販売及び協定販売の着実な実施

2 木質バイオマス燃料材の安定供給②

令和元年度実施した本州向け木質バイオマス燃料材供給の継続を検討しつつ、近隣の木質バイオマス需要にも目配りする。過去に実施した被害木整理によって発生した未利用材の販売を検討するとともに、道路かぶり木の提案型販売や路網新設での支障木販売を実施していく。

- 1 これまでの被害木整理発生材のオープンカウンター方式での販売の検討
- 2 林道や施業道沿いのかぶり木等を事業者の提案に応じて販売

3 販売目標量

(販売目標量について、上記取組に基づき記載する)

(1) 総販売量

39,400 m³

○一般競争入札

16,900 m³

うち「CoC」限定入札 (森林認証取得地域の場合)

9,500 m³

○協定販売

1,200 m³ (うち新規 m³)

うち地域材①		うちバイオマス②	
	うち新規		うち新規
1,200m ³	m ³	m ³	m ³

○長期安定供給販売

9,500 m³ (うち新規 m³)

○その他販売

11,800 m³

(2) オープンカウンター販売

1 件

(注) 販売量は立木材積である。「うち新規」とは、当該年度に新たな協定を締結し、立木を販売するものである。